

社会福祉系学会連合ニュース（2017年10月号）

ご挨拶

日本社会福祉系学会連合会長 黒木保博

今年度6月総会において「日本福祉介護情報学会」入会が総会で承認されました。これにより、社会福祉系学会連合は21の社会福祉系学協会で組織化されることになりました。

当会の主な活動は、日本学術会議社会学委員会社会福祉学分科会への協力、社会福祉系学会の交流と連携等です。交流や連携の具体的活動としてのシンポジウムや研究会では、各学協会に共通するテーマを掲げてきています。

近年では、東日本大震災以降、災害福祉に関するシンポジウムと研究を共通課題とし、継続してきました。「災害福祉学の構築に向けて—社会的孤立の防止と自立支援」（2014年度）、「災害福祉学の構築に向けて—支援者支援を考える—」（2015年度）、そして昨年2016年度は「災害福祉研究—災害予防、対応時における多職種連携のあり方」をテーマとする公開講演会を開催してきました。

今年度についても、これまでの研究成果を踏まえての公開研究会テーマを検討しました。結果、災害福祉から別のテーマに移るということではなく、これまでのテーマ対象の角度を変えて、インクルーシブな地域コミュニティ構築の視点から検討することになりました。別紙の公開講演会案内&ねらいをお読み下さい。

災害福祉についても時間をおいて再びテーマにしたいと思います。そのために2013年よりの「災害福祉アーカイブ」充実をめざし、引き続き収集します。災害福祉に関する文献刊行の際にはぜひ事務局にお知らせ下さい。ホームページで公開しております。

また、今年度から加盟学会の活性化を目的とした「補助金制度」を創設しました。この制度は、外部の専門家（非会員）に講演等を依頼する場合の旅費の一部を補助する制度です。2017年度の募集はすでに締め切りましたが、次年度については、2018年4月末日を締切日とし、近日中に募集を開始します。ぜひ当会ホームページの「補助金制度要項」をご覧ください。

最後に、各学協会の活動について、とりわけ各学協会の年次大会、研究会等の日時を早期にお知らせいただくことで、会員の研究活動に寄与したいと思います。学協会の活動が社会福祉系研究の意義と魅力に相乗効果をもたらすような役割を果たしたいと考えております。各学協会の多くの会員の皆様へぜひ連合活動について紹介と参加をしていただくためにも、この連合ニュースをご活用下さい。

2016年度 日本社会福祉系学会連合 事業報告

1 会員等の活動に関する情報交換

(1) HPのリニューアルおよび広報活動

HPにおいて加盟学会の大会等に関する情報を掲載（月2回更新）したほか、震災関連のシンポジウム等の最新情報や災害福祉アーカイブを適時、掲載・更新した。

(2) 日本社会福祉系学会連合ニュース（電子版）の刊行

「社会福祉系学会連合ニュース」の2016年10月号および2017年3月号を刊行し、本連合HP上で公

開したほか、加盟学会等に配信した。ニュースでは、加盟学会の大会等に関する情報等を掲載した。

2 シンポジウム等の開催

災害福祉研究の構築にむけて、「災害福祉研究—災害予防、対応時における多職種連携のあり方—」をテーマに下記のとおり公開研究会を開催した。

テーマ：「災害福祉研究—災害予防、対応時における多職種連携のあり方—」

開催日時：2016年12月17日（土）13：00～16：30

開催場所：日本大学文理学部キャンパス 3号館3階 3301教室

司会： 小林 良子（日本司法福祉学会・本連合運営委員）

発題者： 笹岡 眞弓（文京学院大学）

小早川義貴（国立病院機構災害医療センター福島復興支援室）

奥田 博子（国立保健医療科学院・保健師）

菅原由紀枝（高寿園・管理栄養士）

3 東日本大震災への対応について

社会福祉学領域における震災関連の研究論文や報告書などを収集し、学会連合 HP 内にある災害福祉アーカイブの構築を継続して行った（http://jaswas.wdc-jp.com/saigai_archive/index.html）。

4 運営委員会の開催

日本社会福祉系学会連合の運営をスムーズに行うため、運営委員会（5月21日、7月2日及び3月5日、なお12月17日は公開研究会）を開催した。運営委員会委員は以下のとおりである。

会長	黒木保博（日本社会福祉学会）
事務局長・学術会議担当	金子光一（日本社会福祉学会）
庶務担当	後藤広史（日本社会福祉学会）
広報担当	小櫃俊介（日本社会福祉学会）
会計担当	李恩心（日本地域福祉学会）
研究担当	小林良子（日本司法福祉学会）
研究担当	高野和良（日本社会分析学会）
研究担当	志賀利一（日本職業リハビリテーション学会）
監事	田中英樹（日本精神障害者リハビリテーション学会）

5 総会開催

2016年度総会を2016年5月29日に立教大学池袋キャンパスにて開催した。

.....

2017年度 日本社会福祉系学会連合 事業計画

1 運営委員会の開催

学会連合の事業を円滑に遂行するために、運営委員会を年3回程度開催する。2017年度の学会連合運営委員は下記の9名で担当する。

会長	黒木保博（日本社会福祉学会）
事務局長・学術会議担当	湯澤直美（日本社会福祉学会）
庶務担当	後藤広史（日本社会福祉学会）
広報担当	小櫃俊介（日本社会福祉学会）
会計担当	渡辺裕一（日本地域福祉学会）
研究担当	小林良子（日本司法福祉学会）
研究担当	高野和良（日本社会分析学会）
研究担当	志賀利一（日本職業リハビリテーション学会）
監事	田中英樹（日本精神障害者リハビリテーション学会）

2 総会開催

2017年度総会は、2017年5月28日（日）に開催する。

開催日時：2017年5月28日（日） 17時10分～17時50分

開催場所：明治学院大学 白金キャンパス 本館3階1310教室

3 会員等の活動に関する情報交換

1) ホームページの充実

リニューアルしたホームページを活用し、更なる会員との情報共有に努める。加盟学会の大会等に関する情報を掲載（月1回更新）するとともに、本連合および日本学術会議等の最新情報を適時、掲載する。

2) 電子版ニュースレターの発行

学会連合の活動内容を広く会員に周知するため、年2回、電子版ニュースレターを発行する（10月、3月予定）。

3) ホームページにおける災害福祉アーカイブの作成（継続）

2013年より「災害福祉アーカイブ」を連合ホームページ内に設け、震災関連の研究論文、報告書などを収集している。今年度も引き続き情報の収集、掲載の工夫を行うとともに、加盟学会および学会員に一層の協力を求め、収集・活用方法についても検討する。

4 加盟学会の活動に対する補助

日本社会福祉系学会連合の加盟学会が活性化することを目的として、外部の専門家（非会員）に講演等を依頼する場合の旅費の一部を補助する制度を創設する。補助金の額は、一回5万円を限度とする。補助金を受ける学会は毎年5学会を限度とする。

「日本社会福祉系学会連合補助金制度要項」を作成し、2017年度から実施する。

5 シンポジウム等の開催

開催日時：2017年12月17日（日）13:00~16:30（受付12:30~）

開催場所：上智大学 四谷キャンパス 12号館2階202教室

テーマ：インクルーシブな地域コミュニティをいかに構築するかー実践の成果と課題

シンポジスト：小林 良二（東京都立大学名誉教授）

：ヴィラーグ ヴィクトル（長崎国際大学）

：米澤 旦（明治学院大学）

コーディネーター：田中英樹（早稲田大学） * 入場無料

* 申し込み締め切り 12月13日（水）

当日の参加も可能ですが、資料の準備の都合上、事前申し込みにご協力いただけますようお願い申し上げます。メールアドレス：union-jssw@kokusaibunken.jp



6 日本学術会議の活動に対する支援と協力

日本学術会議社会学委員会社会福祉学関連分科会である「社会学委員会社会福祉学分科会」による研究活動を支援する。

7 事務局の事務委託

昨年度に引き続き、（株）国際文献社へ事務業務を委託する。

日本社会福祉系学会連合事務局

日本社会福祉学会事務局内

〒162-0801

東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター

TEL:03(5937)0047 FAX:03(3368)2822

Mai: union-jssw@kokusaibunken.jp

<http://jaswas.wdc-jp.com>

加盟学会一覧

社会事業史学会 日本医療社会福祉学会 日本介護福祉学会 日本家族研究・家族療法学会
日本看護福祉学会 日本キリスト教社会福祉学会 日本子ども家庭福祉学会 日本在宅ケア学会
日本社会福祉学会 日本社会福祉教育学会 日本ソーシャルワーク学会 日本社会分析学会
日本職業リハビリテーション学会 日本地域福祉学会 日本福祉教育・ボランティア学習学会
日本福祉文化学会 日本仏教社会福祉学会 日本保健福祉学会 日本司法福祉学会
日本精神障害者リハビリテーション学会 日本福祉介護情報学会

日本社会福祉系学会連合 2017年度 公開研究会 開催案内

地域包括ケアシステムの進展とともに、インクルーシブな地域コミュニティをどう構築するかということが改めて問われています。

本公開研究会では、このような地域コミュニティを構築するために、その担い手の育成と文化の涵養をどのようにしていくのかということを検討するとともに、その実践と成果を、伝統的な社会福祉供給主体（社会福祉法人等）と、新たな社会福祉供給主体（社会的企業等）の両面から報告していただきます。それらを通して浮かび上がってきた課題を共有し、今後取り組むべき課題について示唆を得たいと思います。

多くの皆様のご参加をお待ちしています。

開催日時：2017年12月17日（日）13:00~16:30（受付12:30~）

開催場所：上智大学 四谷キャンパス 12号館2階202教室

テーマ：**インクルーシブな地域コミュニティをいかに構築するか
－実践の成果と課題**

シンポジスト：小林 良二（東京都立大学名誉教授）

ヴィラーク ヴィクトル（長崎国際大学）

米澤 旦（明治学院大学）

コーディネーター：田中英樹（早稲田大学）

* 入場無料

* お申し込みは、①参加希望者名、②ご所属先名、③ご住所（任意）、④お電話番号、⑤メールアドレスを明記のうえ、日本社会福祉系学会連合事務局までメールでご連絡ください。

* 締め切り 12月13日（水）当日の参加も可能ですが、資料の準備の都合上、事前申し込みにご協力いただけますようお願い申し上げます。

* メールアドレス：union-jssw@kokusaibunken.jp



2016年度公開研究会（2016年12月17日開催）の報告書を、日本社会福祉系学会連合のホームページ（<http://jaswas.wdc-jp.com/>）で公開しています。ぜひご一読ください。